

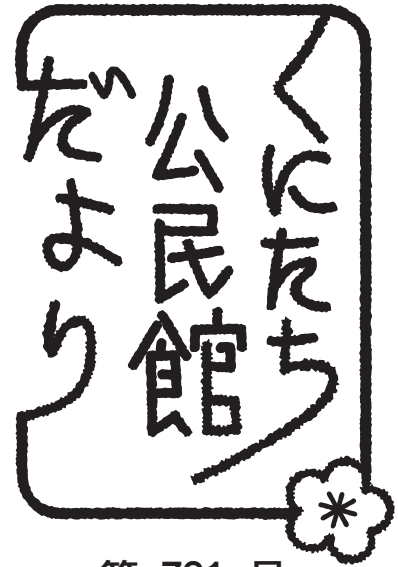
【講演要旨】平和について考える連続講座

杉原千畝 命のビザ

～その生涯から平和を考える～

講師 岩村 太郎(恵泉女学園大学)

今年度6月に始まった平和について考える連続講座は、毎回大変多くの皆様にご参加いただきました。その中から、小学生から大人まで幅広い方の参加がありました第5回の講座内容をご紹介します。



第 721 号

2020年3月5日

(令和2年)

「くにたち公民館だより」

ホームページのQRコード▶



生い立ちと名前の由来

杉原千畝は、1900年1月1日、岐阜県加茂郡八百津町に生まれています。私も何回も訪れましたが木曾川の近くで、岐阜といっても名古屋から少し上がった所に杉原千畝記念館があります。色んな展示があり、お勧めです。千畝という名前は、段々畑のきれいな畝が連なっているような、粘り強いというようなことでした。ただし、ヨーロッパ人には「チウネ」という発音は難しいそうですね。だから「センポ」って読ませたんです。センポ・スギハラっていうと、外国人が知っている杉原千畝。杉原千畝は1986年に鎌倉で亡くなりました。亡くなったとき新聞に出たかもしれないけれども、ほとんどの日本人は杉原千畝という人が何をやってたか知らなかったんですね。杉原

大学進学からハルビンへ

千畝は自分のやったことを話さなかったんです。でも後にヨーロッパ人たちはセンポ・スギハラを探したわけです。ところが外務省の職員は、センポ・スギハラは「該当なし」、つまり、いないって言ったんです。本当はいたんですよ。でも、杉原千畝が行ったこと、ユダヤ人を助けた日本人がいたということがわかるのは、政府にはブラスにならないですね。それで「該当なし」としたんですね。杉原のお父さんは、千畝が医者になるように懇願したんです。ところが杉原は医者が嫌で、語学が好きだったんですね。拒否をして早稲田大学の英語科に進みます。ただ、杉原はほとんど勘当同然の身ですから、親からは援助がないんですね。だから当時、牛乳配達とか新聞配達をしながら、ほと

*新型コロナウイルス感染症対策に伴う講座実施について

新型コロナウイルス感染症対策としまして、公民館だより掲載の講座・イベントを中止・延期、または受付方法を変更する可能性があります。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

ハルビン時代と帰国

ハルビンで杉原は、クラウディンと勉強していません。唯一大学でやったことがわかるのは、グループでキリスト教の勉強を始めたようです。ただ洗礼を受けるのはハルビンに行ってからになります。困窮していた杉原は、ある日、官費留学募集のチラシをばっと見て、応募する。それで試験に合格して、中国のハルビンへ行きます。ロシア語研修生の枠で行ったんだけど、本当は第一志望は、ロシア語ではなかったようです。でもロシア語枠なら空いているって言われたんですね。それで渋々行きます。ただ偉いと思うのは、そこで杉原は腐らないで、置かれた場所でも頑張つて、どんどん頭角を現します。それで通訳ができるまでになったといえますから、語学の才能があった人なんですよ。ア・アポロノフという最初の奥さんと結婚しました。彼女はロシア革命の時に逃げてきたロシア人です。そこで日本から留学していた杉原と出会った。でもすぐに杉原とは離婚してしまつたようです。ただクラウディアの影響で、杉原はついにキリスト教に改宗して、ロシア正教で洗礼を受けています。でもお葬式は神道形式で行ったんですね。だからあんまり熱心なクリスチャンではなくて、洗礼を受けたけど、あまり教会も行つてなかったような感じなんです。杉原と離婚した後クラウディアはお金に困つて、いろいろな経済的援助を求めていて、杉原は人がいいから随分援助していたらしいんですね。研修生後、杉原は、現地の日本領事館に就任しましたが、この時、日本の関東軍っていうのは威張っていたんですね。中国の人に対して、満州鉄道を作る時だったから

大変です。しかもすごく寒い。その寒いところで杉原はそうした関東軍の態度が嫌で、たびたび意見しているんですね。そうすると、「何だおまえ役人が生意気だ」と言って、多分ならまれたようです。それで、杉原は嫌になって日本に帰って来てしまいます。

杉原は日本に帰ってきてから、1936年、菊池幸子さんと結婚します。それから男の子が何人かできて、それからはわりと幸せだったかなと思います。

リトアニア・カウナスへ

帰国後も、杉原にはまだ外交官の任務がありますから、1939年領事官代理でリトアニアに派遣されます。杉原は、ロシア語ができて、英語、ドイツ語もできますから、イタリアとドイツの情報収集が主な仕事でした。それを本国へ送る。当時は打電です。

僕も何回か行きましたけど、リトアニアの小高い丘のきれいなところが、杉原記念館というのがあります。皆さんにもぜひお勧めします。私も「ここで決断をした人がいたんだな」と思いながら「よし、頑張っ頑張って勉強しよう」と思いました。

1940年9月、杉原はリトアニアを出国するんだけど、194

0年の7月末から8月にかけての出来事です。そのときに、ずらつとユダヤ人が柵越しに並んでいたんです。



1940年7月 領事館前の避難民

そこに来たユダヤ人は、ポーランドに住んでいる人で、オランダ名譽領事からキュラソー入国ビザをもらっていたんですよ。なぜかという、オランダはユダヤ人に寛容だったんです。『アンネの日記』にもオランダが出てきたですよ。ユダヤ人に対して、寛容な国と不寛容な国があったんです。ユダヤ人たちは当時、ヨーロッパのあちこちに逃げて、住みやすいところを探していたんです。

それで、キューバのちよつと下ボリビアとかブラジルの上、要するにカリブ海ですね、オランダは、キュラソー島っていう小さい島を持っていて、ユダヤ人たちは、キュラソー島に移住するんだって言ったんです。だからソ連と日本は通過だけさせてくれと。ソ連は日本通過ビ

ザがあるのなら、シベリア鉄道は通してやると言っている。だから日本通過ビザが欲しいということなんです。ただキュラソー島に行くと言つて、本当にキュラソー島に行ったユダヤ人はほとんどいませんでした。

ビザ発給の決断

ビザの発給を求められた杉原はやっぱ躊躇します。だってこれやったらもう外務省解雇は間違いないですからね。しかもヒトラー相手に闘うんですよ。それに1940年っていうのは、日独伊の三国同盟を正式に締結する直前なんです。条約っていうのは、結ぶ直前の関係って大事ですよ。ところが日本の外交官で、ヒトラーがあれだけ追っているユダヤ人を助けることは許されることじゃないから、杉原は決断できなかったんです。それで夜も眠れなかったと。

妻の幸子さんの書いた本に、主人はもう汗をかいて必死だったと。やっぱ子どももいますし、生活がありますから、ビザを出したらクビになるということで躊躇したんですけど、最後、杉原千畝の肩を叩き、後押ししたのは妻の幸子さんです。「あなた一人で頑張ってください」なんて言わないで、杉原と最後まで一緒にいました。



ビザを受け取ったユダヤ人

ビザの発給を受けたユダヤ人はウラジオストックにスイッチバックしながら行くんですね。さらにそこから船で敦賀港に来るんですけど、それを今の大手旅行会社の前身の会社の人が請け負っているんですね。その会社の新人研修会では、もともとこの会社は避難民の輸送とか、困った人の移動とか、そういう使命感を持って始めたんだと。

あなたたちはそういう使命感を持って仕事をなさって、社長がみずから声をからして訓示の時に杉原千畝の話をしているそうです。なかなか感銘を受けました。

この後ユダヤ人達は敦賀港からすぐ船に乗って、神戸と横浜に行くんです。キリスト教の中にもいろいろな派がありますけど、ホーリネス派のクリスチャンというのが、はわりと原理主義に近いというか、熱心なクリスチャンの人たちなんです。彼らがアメリカからいろいろな情報を得ていて、日本にユダヤ人が大量に来るから援助してくれって言われて、お金を貸し付けたというか、あげたのかな、彼らも非常に援助をします。

篠輝久さんが青少年向けに書いた『約束の国への長い旅』という杉原千畝の本があります。そこに書かれているには、ユダヤ人たちがいよいよ船で出航するときのこと。日本のホーリネス教団の人たちがユダヤ人に赤いリングを投げつけた。この時、ユダヤ人たちはこのリングで殺された。この意味がわかりますか？ ナチスがどんな軍事力を使ってもできなかったこと、すなわち心が奪われたのです。現在も残る根強いユダヤ人差別、旧約聖書のアブラハムの時代から始まるパレスチナ領土問題、中世

ヨーロッパから始まるユダヤ人商人への反感、20世紀のユダヤ人排斥運動、ナチス・ドイツに第二次大戦中に協力していた日本の戦争責任、これらを正しく認識することが我々の責任であると思いません。簡単に言うと、船で逃げようとするユダヤ人に、リングを投げつけたんです。投げつけたというのは、リングで雪合戦みたいにいじめると言うんじゃないで、プレゼントで送ったんです。要するにユダヤ人が、自分たちは日本人に赤いリングで殺されたと言ったんですよ。殺されたっていうのは、ナチスがあれだけ毒ガス攻撃もつて、自分たちを殺しにかかったわけでしょ。それでも自分たちは死ななかつた。ただ日本人の温かい気持ち、リングを投げつけられることによって、自分たちの魂が奪われて殺されたっていう。昔英語の歌で「キング・ミー・ソフトリ」というのがあったんですが、あれは、メロメロにされたということ。それと同じ意味で使った。僕はこの本を読んで杉原のことを調べるようになりました。

当時の社会情勢における日本の外務省の反応

一方、三国同盟締結直前の日本、



講師：岩村太郎さん

日本の外相は松岡洋右です。松岡洋右って、ロイド眼鏡って言われた黒縁眼鏡の人で、英語ペラペラなんですよね。だから国際連盟を脱退したときに通訳官が入っているのにそれ制止してペラペラとしてやるあの、松岡洋右が絶対それを許可しなかったんですね。政治家とか外務省の人たちって符牒ふたてを使いますよね。杉原がユダヤ人に、「日本通過ビザの発行を許可願いたし」と打つと、返事が来て、「お取り扱い慎重にされたし」。これは外務省の政治家用語で、「だめ」なんです。僕らの感覚だと、まあ慎重にやれば、3人位いいだろうというのが解釈ですよ。でも最後の最後まで松岡洋右は許可しませんでした。ところが、いろんな説があつて、日本に来たユダヤ人を罰したり追い返したりしてませんよね。だから松岡洋右はもしかししたら、容認してたのかも知れないという説もあるんですね。ただ当時の日本は、三国同盟を組

んで、一流だと思って、負けると思ってたってませんか。中国に満州国を作った日本が世界で一番だと思つていたころだと思えますから、ユダヤ人が100人、200人来ようと、あんまり気にしなかったのかなという説もあります。

立ち止まる勇気！

杉原の決断について私は「立ち止まる勇気」という言葉を使っています。あんまり杉原を必要以上に英雄視するのはいけないと思つてるんですよ。よく戦前にヒトラーに逆らつて、日本帝国主義に反抗した立派な日本人がいたつていますが、そこまで反抗していませんよ。基本は協力している。ただ、みんなが流されかけたとき、自分だけは一緒に流されないで立ち止まろうとしたんですね。

いじめつて、子ども自身は誰がいじめつて、誰がいじめられてるか知ってますよね。先生に言わないだけで。一緒になつていじめないと自分がいじめられるから大體一緒にいじめられるから大體いじめられないんだよ。う人はなかなかないですよ。ただ、1人、2人ちよつとかばつてくれるやつがいますね。『おい、いいかげんにしろ。行こう。野球

やろう』とか言うやつ。それぐらの踏みとどまり方を杉原はしたんじゃないかなと思つています。日本人がこぞつてドイツに味方し、ドイツ、イタリアと組んで世界を牛耳るんだと思つていた中で、少数の人たちを見殺しにしないと、杉原はひとりて頑張つた。ひとりですよ。奥さんが唯一の味方だったんじゃないかなと思います。当時のユダヤ人は地球全体で1800万人しかいなかった。そのうちの3分の1、つまり600万人殺したんですよ。しかも虐殺つて、子どもは省く場合が多いんですよ。ヒトラーは、何年か先に優秀なユダヤ人が反抗してくると怖いからつて、女、子ども、特に子どもを捕まえて殺してるんだよね。そこがもう恨み骨髄なんです。当時ユダヤ教徒を狙い打ちしてたでしょ。アメリカじゃ、リンカーンの前は黒人の人たちを狙い打ちしてたでしょ。今、ヨーロッパではアフリカ、中近東から来るイスラム教徒を狙い打ちしてるでしょ。結局狙い打ちしてるっていうことについては、大きな構造と変わってないんだよね。だからそこを、じゃあ、人間はどうしたら、共生、共生って言いますが、共生という名の関わりなしで生きる選択してるわけでは

よ、みんな。僕も含めて。今は、これからは多分、環境、地球規模の問題になると思つています。ともかくそういう中で、杉原は反戦運動をしたわけではなく、ただみんながやれ、やれつて言う時の、「いいかげんにしろよ」つて言つた勇気ある小学生と同じように、みんなが流されそうになつた時、立ち止まったんですね。だから日本の憲法9条については危ないと思つてるんだけど。ここで誰か立ち止まるやつがいらないかなと僕は思つてる。現存するビザつて2139枚残つてるんですね。1家族に1枚なんです。それで大体6000人ぐらいだろうと言われていますが、逃げ帰つたユダヤ人の中に、大臣になる人たちや結構優秀な人がいっぱいいたんですよ。それで彼らは必死になつて、杉原千畝を探したんですね。ヒトラーの魔の手を逃れたユダヤ人たちが、ウラジオストクに着いて、敦賀港に着いて、日本にしばらく滞在して、ほとんどはアメリカとか、カナダとかに行つたんです。もちろんキュラソー島に行くというふりはしたんだろうけど、ほとんど大體アメリカに行つたと思つています。ところが彼らは恩を忘れませんか、アメリカに行つて

もセンポ・スギハラを一生懸命探していたわけです。

シベリア抑留後

ビザ発給後、杉原たちはシベリアに抑留されて、ウラジオストクまで帰ってくるわけですね。山があるから、スイッチバックをする。前進する時はいいんだけど、戻ってきた瞬間、日本人はみんな凍りついたって。これでシベリアにまた抑留されるんじゃないかと思つて。それで進むとほつとしたつていう、そういう話があります。そしてウラジオストクから福井県の敦賀港に日本海を渡つて来るんだけど、途中まだソ連の領海ですよね。領海だとまた拿捕されて戻されるから、領海を越えたと聞いて、バートと甲板が上がつて行ってみんなで歌を歌つたつて言うんですね。そういう感動的な話があります。

こうして、杉原一家は日本に戻りますが、杉原はもろんクビになります。ところがこの間、数カ月前の新聞を見た人いますか。このとき完全にクビにならないで、参議院の書記官としてしばらく雇われて、給料もらつてたつていうことがわかつたという小さい記事が出てた。幾らもらつていたか知らないですけど、それにしたつて

大してもらわないでしようね。杉原さん、正当に評価されていれば、ノーベル平和賞とつたかもしれないし、自慢できる日本人の何人かに入つたと思うんだよね。だけど、もう亡くなつちゃいましたからね。センポ・スギハラを復権させるよと言つたのは、鈴木宗男と河野洋平。それで河野が外務大臣だったときに、杉原のような人がいたということもちゃんと次世代に語り継ぐようになりました。

日本の戦争責任つていうのは重いです。従軍慰安婦の問題から始まつて、東南アジアにも、それは謝らなきゃいけないんだけど、それだけじゃなくて、日本にも杉原みたいな人がいましたからね、それもちゃんと取り上げるべきだと僕は思つてるんです。功と罪を両方やるべきだと思つています。

杉原から学ぶこと

僕らのころは、杉原千畝つてもちろん教科書に載つていませんでした。ところが、いま副読本に日本にも杉原千畝といつて、ささやかながらヒトラーに抵抗した日本人もいたつて、ちよつと出てくるんです。それから、英語のサブリーダーの教科書とかで海外で成功した日本人つていうので、杉原千畝が取り上げられています。長

いこと秘められていた杉原の功績は、道徳の教科書に4社か5社のうちのなんと3社が取り上げていた。だからその3社を採用した公立学校の生徒は、もう間違いない。杉原を知っていますから。10年後には、日本の大学生のほとんどが杉原を知つてるかと思つて。いま知つてる人つて手を挙げさせると1割か2割です。僕らのころはゼロですからね。でも10年後の日本の大学生、高校生はほぼ半分以上が杉原千畝つていう人がいて、ヒトラーにささやかながら抵抗して頑張つた、そういう人もいたんだつていうことを学校で習つて

ことになりました。北歐にミュージアムがあります。また、東京駅八重洲口からちよつと先のところに行くと、杉原千畝 Sempo Museum というのがありまして、杉原千畝のいろいろな紹介が出ています。ぜひ行ってみてください。

杉原が偉いなど思つるのは、もしまた同じ状況に置かれても、自分と同じことをしただらうつて言うんですよね。それがほんと格好いいなと思つて。だつて、杉原さんなら、ヨーロッパの一流の外交官か政治家ぐらいなれた人ですよ。世界の視野を持つて、歴史とか語学

を知つていて、しかも通訳なしで対等に会話ができる人ですからね。そういう人が本当に日本の政治家になつていけばよかつたと思うんだけど、杉原さんはあつさりさういふのを投げ打つちやつた。どつちがいいですかね。両方あれば一番いいんですけど。お金もあつて名譽もあつて、尊敬される、これが一番いいんですけど。杉原は、何の後悔もないと語つています。杉原の生涯や決断を知ること、平和を考えるきっかけになつていただければと思います。

※表題写真、P2写真・地図の提供
杉原千畝 Sempo Museum

〈平和について考える連続講座⑨〉

いま私たちにできること

～すべての変化は一人から始まる～

講師 鬼丸 昌也

(認定NPO法人テラ・ルネッサンス)

外国で起きている紛争や戦争のことを情報として知つていても、遙か遠くのことで自分とは関係のない国の事と思つている方もいるかと思つます。しかし、紛争の原因が日本にいる私たちにもあるとしたらどうでしょう。

普段、使つているスマートフォンやパソコン、車を動かしたり電気をつくつたりするのに使用される石油など、日本国内ではまかないきれない資源は外国から輸入しています。私たちの生活を豊かにするモノを作るのに必要な資源を巡つて、様々な地域で紛争が起つています。

今回は、東南アジアの「地雷」問題に出会い、一念発起して創設したNPOで現在も理事として活動をしておりアフリカ地域の「子ども兵」などの課題に取り組んでいる講師に、これまで活動してきた経験をお話いただきます。日本という平和な国でいま、自分に何ができるのかを一緒に考えたいと思つます。

〈鬼丸さんの著書〉

『平和をつくるを仕事にする』(ちくまプリマー新書)他

とき 4月18日(土) 昼2時～4時
ところ 公民館 地下ホール 定員 30名(申込先着順)
申込先 3月19日(木) 9時～
公民館 ☎ (572) 5141

〈女性の生きかたを考える講座・公開講座〉
子どもの「いや」に困るとき
 —受け止めればいいのか？叱ればいいのか？—

講師 大河原 美以 (東京学芸大学)

子育て中のみなさん！子どもが言うことを聞いてくれないで困ってしまうことってありませんか？幼児のイヤイヤ期に限らず、日常の様々なシーンで直面する子どもの「いや」と噛み合わない親の想い。

子どもとの葛藤はどうして起こるのでしょうか？そして、私たち大人はどう向き合えば良いのでしょうか？本講座では、『子どもの「いや」に困ったとき読む本』の著者・大河原さんに幼い子どもの発達や心理と、私たち大人の心構えについてお話しいただきます。より良い親子関係を築ききっかけにしませんか？

※「女性の生きかたを考える講座—女性のライフデザイン学—」(2019年5月～9月実施)の参加者の学びの中から出てきたテーマを取り上げました。ぜひ一緒に考えましょう。
 ※ご夫婦、男性の参加也大歓迎！

とき 3月27日(金)朝10時～12時
 ところ 公民館 地下ホール
 定員 30名(申込先着順)
 申込先 3月17日(火)朝9時～
 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1



〈憲法講座〉
表現の自由、個人の尊重

近年、憲法に保障される権利を侵害するような出来事が起きています。現代芸術の祭典は作品への苦情や脅迫、政治家や自治体首長の言動により主催者が中止せざるを得ない事態となりました。また、急速なAI発達はビックデータ活用や顧客把握、プロファイリングなど個人情報保護や個人の尊厳を損なう恐れを生じています。

これは地域の出来事や技術革新だけでなく、今後の私たちの活動にも大きく影響する可能性があります。

1回目は、現代芸術の祭典への事案をもとに表現の自由について取り上げます。

2回目は、急速なICT発達の導入が個人の尊厳を侵しかねない事態を生じさせているので刑事法を素材にそれを考えてみます。

回	月日	テーマ	講師
1	3月15日(日)	なぜ表現の自由は大切か	志田 陽子 (武蔵野美術大学)
2	3月20日(金・祝)	AIと刑事法	笹倉 宏紀 (慶應義塾大学)

時間 いずれも昼3時～5時(1回からでも参加できます。)
 ところ 公民館3階 講座室 定員 20名(申込先着順)
 申込先 3月10日(火)朝9時～
 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

〈地域防災講座〉

『帰宅困難』

～そのときあなたはどうしますか～

講師 堀 洋元 (大妻女子大学)

災害はいつどこで発生するか分かりません。東日本大震災時に、職場・学校・買い物先等で被災し、すぐに帰宅できず「帰宅困難者」になられた経験を持つ方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

多摩地域は、都心に通勤・通学している方も多いため「帰宅困難者」となるリスクが高い地域性を有しています。

今回は、自身が、また家族が帰宅困難者になった場合を想定し、発災から2日間に起こり得る出来事への対応等について考えます。そして、災害時にそれぞれが置かれている状況で、適切な判断をしていくための機会にしたいと思います。

とき 3月22日(日)朝10時～12時
 ところ 公民館 地下ホール
 定員 25名(申込先着順)
 申込先 3月13日(金)朝9時～
 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1
 協力 KUNIBO
 (くにたち地域外国人のための防災連絡会)

〈図書室のつどい〉

『みんながつながる、新しい共生のカタチ』

～保育所、認知症デイホーム、地域の寄り合い所の3つの機能を合わせもつ施設「地域の寄り合い所 また明日」での暮らし～

講師 太田 美由紀 (編集者・ライター)

小金井市内にある施設「地域の寄り合い所 また明日」では、認知症の方と子どもたち、そして近所の人たちが一緒に過ごしています。ここでは、利用者、ボランティア、そしてスタッフも、それぞれの自主性をお互いに大事にしています。認知症になっても、そこに子どもがいれば、抱っこや頭をなでるなど、温かく豊かな関わり合いが生まれます。

人を縛るためのルールは誰のためのものなのか。管理のしやすさや手間のかからないことをよとする雰囲気蔓延していかないだろうか。今の社会の生きづらさや、人間の本当の幸せについて、改めて考える時間としたいと思います。「地域の寄り合い所 また明日」に通い、長年取材をされた太田さんをお招きして、子育てや介護に関わるすべての方と共に考えたいと思います。

とき 3月22日(日)
 午後2時～4時
 ところ 公民館 3階講座室
 定員 20名(申込先着順)
 申込先 3月13日(金)朝9時～
 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1



『新しい時代の共生のカタチ～地域の寄り合い所「また明日」より』 撮影：藤田浩司

〈男性の料理入門 春休み特別企画〉

手作りロールパンでお昼ごはん!

講師 北川 みどり (管理栄養士)

春休みのお昼ご飯を、お父さんと一緒に作ってみよう!
ロールパンは発酵させた生地をクルクル巻いて焼きま
す。丸めて作っても大丈夫。中にレーズンやあんこなど
を入れても楽しいです。その他のメニューはクラムチャウ
ダー、野菜のグリル、フルーツの予定です。
どうぞご参加ください。



とき 3月29日(日)朝10時~昼1時
場所 福祉会館 3階料理講習室
定員 親子4組(お祖父さんでも可)(申込先着順)
費用 一組(子ども1人まで)1,300円
子ども2人まで)1,500円
子ども3人まで)1,700円

3月21日(土)までに公民館へお支払いください(受
付時間:月曜日以外の朝9時~夕5時)。当日払いは
できません。食材購入後のキャンセルは実費をご負担
していただきます。

持ち物 エプロン、三角巾(タオル可)、筆記用具 ポリ袋
(ゴミ持ち帰り用)、ふきん(台ふき用、皿ふき用)
申込先 3月12日(木)朝9時~
公民館☎(572)5141

『手話講演』多文化理解のための異言語体験 ~手話のナゾ解きから学ぶ、伝え合う創意工夫の魅力~

講師 菊永 ふみ (一般社団法人異言語 Lab.)

多文化共生社会への意識づくりのひとつとして、もっと
知りたい、学びたいという体験づくりに注目した講座です。
人と人をつなぐコミュニケーションの方法は、言葉だけ
でなく、手や身体、表情、声、文字などさまざまに存在し
ています。このいろいろな異言語を伝え合う楽しさを感じ
る体験の意義を学んでいきます。
ろう者・難聴者・聴者がチームを組み、手話、筆談、身
振り、音声などが組み込まれた謎を解き、脱出する体験型
ゲーム「異言語脱出ゲーム」の開発者で、自身もろう者で
ある菊永さんをお招きします。異なる言語を伝え合うた
めの創意工夫をする魅力について、ご紹介いただきます。

とき 3月28日(土)昼2時~4時
ところ 国立市公民館 3階集会室
定員 20名(申込先着順)
申込先 3月19日(木)朝9時~
公民館☎(572)5141
メールアドレス: sec_kominkan@city.kunitachi.lg.jp

手話による講演です。手話通訳がつきます。

〈親子で遊ぼう・考えよう〉

遊びながらSTEM(ステム)ミッション をクリアしよう!

今、注目されているSTEM教育(※)を親子で遊びな
がら体験してみましょう!穴の空いた紙コップでどうやっ
て水を運ぶ?などなど。身近な素材を使った素朴な課題を
自由な発想で遊びながら挑戦してみよう!

講師 山田 修平

(NPO法人東京学芸大こども未来研究所)

とき 3月15日(日)朝10時~12時
ところ 南市民プラザ 多目的ホール
持ち物 飲み物、動きやすい服装
対象・定員 子ども(4歳以上~小学校低学年)と保護者
10組(申込先着順)
申込先 3月10日(火)朝9時から
公民館☎(572)5141

※「Science(科学)、Technology(技術)、Engineering(工
学)、Mathematics(数学)の頭文字を取った造語、ねらい
は「自分で学び、自分で理解していく子ども」を育てる教育

版画をつくってみよう! —プレス機体験ワークショップ—

プレス機を使って、本格的な版画を体験してみませんか?
紙の版(ドライポイントプレート)とプレス機を使
って版画を作ります。紙の版に、線を描いたり、切った
り、はがしたりして、インクを詰めて
刷ると、銅版画のような作品ができ上
がります。



講師 山本 佳奈枝 (版画家)

さかた きよこ (版画家)

タダ ジュン (イラストレーター・版画家)

とき 3月15日(日)昼1時~4時(受付は3時まで)
※所要時間は1時間程度です。
ところ 公民館 1階市民交流ロビー
対象・定員 20名程度 材料費 200円
持ち物 エプロン(よごれてもよい服装)、
ハガキサイズぐらいの下絵(なくても可)
申込先 3月10日(火)朝9時~
公民館☎(572)5141

同時開催!

「はじめての銅版画」展

創作講座「はじめての銅版画」(1月~3月、全4回)
の作品展を行います。一人ひとり個性豊かな作品ができま
した。ぜひ見に来てください!

とき 3月10日(火)~15日(日)夕5時まで
ところ 公民館 1階市民交流ロビー
問合せ 公民館☎(572)5141

ひるば

(8ページにもあります)



春を待つヒヨドリ

撮影 和賀 一さん (フォトサークルくにたち)

公民館運営審議会報告

2月11日(火) 第32期第16回定例会を開催。委員13名、館長、職員2名出席。傍聴人3名。教育長と公民館長人事等についての意見交換

各委員から、公民館長に望む人材の資質等について意見を述べた。「第9次地方分権一括法の成立に伴う今後の公民館の所管に関する要望書」(12月10日提出)については尊重するとの回答であった。

前回議事録確認

報告事項
○公民館だより編集研究委員会
2月号「講座参加者の声」の「国立を見える化する」について「社会教育学習会」と明示しなかったこと等について意見があった。

社会教育委員の会

「生涯学習情報の集約・発信」について」と題する意見書を教育長に提出した。次回から「職員の専門性の確保」について議論する。

東京都公民館連絡協議会

2月1日に東京都公民館研究会が開催され、第四課題別集会には79名が参加した。

○職員体制人事要望報告について現在の職員体制を踏まえ、様々な話が交わされた旨報告があった。

協議事項

○公民館使用後の確認等について利用者数把握と利用モラルの問題は分けて議論すべき、公民館に関わる重要業績評価指標は妥当かなどの意見があった。審議継続。
次回3月30日(月)夜7時15分。感染予防の上傍聴歓迎。(限井)

一緒にギターを弾きませんか

ギターアンサンブル「かなで」
会費無料、指導者はいませんが、クラシックギターで合奏、重奏、独奏を楽しんでいます。気軽にお越し下さい。お待ちしております。
日時 毎週日曜日 昼1時～5時
場所 公民館、東福祉館、他
連絡先 石井090(8509) 6705

くにたちハーモニカクラブ

ハーモニカは小鳥も和して澄み渡り。指導は日本ハーモニカ芸術協会会長田邊峯光先生。絶妙の音色はハーフトに染み込みます。一緒にやりませんか。初心者大歓迎。
日時 毎週金曜日 朝9時～12時
場所 富士見台2丁目集会所
連絡先 白倉090(3223) 8048

太鼓たたいて健康に！会員募集

主にアフリカ起源の太鼓をたたいたり瞑想をして、心身のバランス回復、認知症予防、ストレス発散しています。楽器はこちらで用意、初心者歓迎。たたいて健康
日時 月曜日 月2回 昼1時半～
場所 郷土文化館 講堂
連絡先 末兼080(340) 0808

「谷保太極拳同好会」会員募集

太極拳に興味はあるけれど、できるかしら？と悩む前に是非体験を！初めてでも無理なく続けられる気功体操や24式で楽しく太極拳をしてみませんか？
日時 毎週火曜日 朝10時～12時
場所 矢川集会所
連絡先 長谷川090(8303) 7254

フットサルチーム「ソラーナ」

市内で活動中の男女エンジョイサークルです。20代～50代まで幅広いメンバーで毎週汗を流しています。C級指導員によるサポートもあります。お気軽に御連絡下さい。
日時 毎週日曜日 昼3時～6時
場所 市内小学校 体育館
連絡先 磯080(3258) 6711

やさしい英会話 若干名募集

レベル別に学習しています。初級はテキストを中心に、中級はフリートークを中心に、英国人講師を迎えてレベルアップを図ります。詳細はお尋ね下さい。
日時 火昼初級2時中級3時半
場所 公民館 中集会所、他
連絡先 三好042(848) 4632

くにたち親墨の会 仲間大募集

私達は月2回、芸小ホールで優しい講師と、ゆるく書道を楽しんでいます。会員は50代～80代ですが、この度初心者男女を含め大募集です。是非見学をお待ちします。
日時 毎月第二、第三次 曜朝9時半
場所 芸小ホール アトリエ
連絡先 佐藤090(8806) 9404

ソフトボール メンバー募集

ソフトボールを楽しんで今年で40年。南学ソフトボールチームです。初めての方も、どなたでも大歓迎です。さあ、一緒に汗を流しましょう。詳細はお問合わせ下さい。
日時 毎週日曜朝7時半～9時
場所 谷保第三公園
連絡先 佐伯090(4745) 7434

リコーダの会「木星」会員募集

誰でも吹けるリコーダで音楽を楽しみませんか。12月の発表会に参加しリコーダのアンサンブルを楽しんでいます。初心者大歓迎。先生が親切丁寧に指導します。
日時 第二、第四木曜日夜7時
場所 公民館 音楽室
連絡先 畑(573) 0678

数学を楽しむ会(3月期)

3月は、セミと還暦と素数の関連等のお話をいたします。意外な結果に驚かれとともに、数学を身近に感じていただけます。お気軽にお越し下さい。
日時 3月7日(土)21日(土) 昼1時
場所 公民館 中集会所
連絡先 山本(572) 1028

マトリョーシカの会コンサート

今回のゲストは歌手の山之内重美さんです。ゲスト演奏の他、参加者全員でロシアの歌を歌います。見やすいカナ付き楽譜があります。資料代500円。
日時 3月8日(日) 昼2時
場所 公民館 ホール
連絡先 大貫(572) 5214

著者山家悠紀夫さんと学ぶ 連続講座「日本経済30年史」

②3月14日(土)「改革」が招いた不況とその後(橋本内閣1997～2000)
③3月28日(土)「不良債権」処理政策のもたらしたものの(小泉「構造改革」その①)※両日朝10時～12時
場所 公民館 講座室
連絡先 田島(576) 4015(午前)

今月の公民館 (3月、4月中)

*印は参加自由、他は事前申込みが必要です。

- 15日(日) 朝 親子で遊ぼう・考えよう
遊びながらSTEM(ステム)ミッションをクリアしよう!
- 15日(日) 昼～ 憲法講座
表現の自由、個人の尊重
- 15日(日) 昼 版画を作ってみよう!
- 22日(日) 朝 地域防災講座 「帰宅困難」
～そのときあなたは どうしますか～
- 22日(日) 昼 図書室のつどい
「みんながつながる、新しい共生のカタチ」
- 27日(金) 朝 女性の生き方を考える講座・公開講座
「子どもの「いや」に困るとき」
- 28日(土) 昼 『手話講演』
多文化理解のための異言語体験
- 29日(日) 朝 男性の料理入門春休み特別企画
「手作りロールパンで昼ごはん!」
- 4月18日(土) 昼 平和講座⑨
「いま私たちにできること」



ひろば

(7ページにもあります)

くにたち国際友好会WING

3月度の異文化コミュニケーションの会は、台湾の政治・経済等の現状や日本との歴史的つながりについて、一橋大学の留学生張家維さんに紹介していただきます。
日時 3月19日(木) 夜7時～9時
場所 公民館 集会室
連絡先 和田090(3497) 2110

Me Too くにたち講演会と報告集会

セクハラが許される? もうそういう時代ではない! 市政の中のセクハラに対し怒る市民の講演会&活動報告。講師: 首都大学東京(シエンダー)の社会学 川口遼さん。
日時 3月22日(日) 夜7時～9時半
場所 公民館 講座室
連絡先 石原070(5026) 5553

学習会「井上スズさんの思想と行動から学ぶ」

1970年代から90年代の国立の町づくりなどの活動から報告。高田雅士(一橋大学大学院) 井上さんの思想と行動から学ぶ会。
日時 3月22日(日) 昼2時～4時
場所 公民館 集会室
連絡先 田島(576) 4015(午前)

会場調整会のお知らせ

3月7日(土) 開催予定の会場調整会は、新型コロナウイルス感染症対策のため実施方法を変更いたします。お申込みいただいた団体には、こちらから電話連絡いたします。4月4日(土) 開催予定の会場調整会につきましても同様の対応をいたしますのでご理解とご協力をお願いいたします。

くにたち写遊会 写真展

公民館ロビーで恒例の写真展を開催します。この一年で撮った約50点の作品が展示されます。
日時 3月31日(火)～4月5日(日)
場所 公民館 市民交流ロビー
連絡先 三宅(326) 1334

ひとり分の簡単ご飯アゲイン!

電子レンジを活用し、ひとり分の簡単ご飯を楽しく作りましょう。好評につき昨年11月と同じ献立(チキンロール・茶碗蒸し・栗蒸し羊羹)を作ります。材料費込500円。
日時 3月28日(土) 昼2時～要予約
場所 宙 谷保駅北口徒歩1分
連絡先 たまりば宙(843) 0443

谷保天満宮獅子舞保存会

(サークル訪問341)

国立の無形民俗文化財、それは村上天皇の時代の天曆年間に都から伝えられたものとされている、谷保天満宮古式獅子舞です。千年以上にわたり威厳と歴史の重みを継承している保存会の稽古場を訪ねました。

秋の例大祭は9月25日に近い土曜、日曜です。東天紅(尾長鶏)の長い羽を獅子頭に飾って舞います。万燈も練り歩きます。

現在の登録会員は87名。訪問した日は、37名が稽古場の谷保天満宮参集殿に集まっています。

舞だけでなく、神様への奉納には、調べや、力強い太鼓、そして歌が必要です。会では、踊り手を「舞子」歌い手のことを「歌人」横笛を吹く人は「笛係」と呼びます。中央で大きく体をひねり、バチを高く上げては太鼓を打つ舞子はさすがに華麗です。そして、雅楽に似た、上品で崇高な調べが一体となって響き、厳かな空気が満ちてきます。

1時間ほどで練習は終了し、この日は新年会でした。振る舞いや酒の肴も盛られ、至る所で笑い声が絶えません。

36年間保存会に携わってきた北島代表は、ひたすら聴いて覚え、

見て覚え、繰り返すことで体に染み込ませてきたそうです。9月の例大祭を大切にしていることを情熱的に話されました。また、多くの会員が先輩からの誘いにより、「やるっきゃない」と覚悟を決めたそうです。地域の絆の強さを感じました。

現在、会では「歌人」を大募集中です。今からなら十分例大祭に間に合います。一緒に歴史の重みの文化財を継承していきませんか。年会費2千円。

日時 第三土曜日午後8時
場所 谷保天満宮参集殿
連絡先 北島090(3505) 6763

〈文・写真 山根浩子〉



9月の例大祭に向けて

